

<管理部門>

I 組織（平成27年3月31日現在）

役員、評議員、職員および各種委員会

1 役員等

評議員	理事	監事
10	7	2

2 職員（ ）内数値は嘱託・非常勤人数

事務局長	総務課	物資課	業務課	食品検査 食育支援室	委嘱職員
1	3（1）	8（1）	3（1）	1（3）	運転手 11 作業員 6

3 各種委員会

物資委員会	パン品質調査会	物資流通情報 モニター
26	12	7

4 役員等に関する事項（平成27年3月31日現在）

（1）評議員 定数：8名以上12名以内 現在数：10名 任期：4年

役職名	氏名	所属名 職名
評議員	平良 亮	浦添市教育委員会学校教育課 指導係長
評議員	根川 文枝	南城市立佐敷知念学校給食センター 栄養教諭
評議員	仲程 直毅	那覇市教育委員会学校給食課 課長
評議員	森山 克子	国立大学法人琉球大学教育学部 講師
評議員	今井 朗	（一社）沖縄県PTA連合会
評議員	又吉 宗慶	（元）沖縄県学校給食会 理事長
評議員	大田 守男	（元）沖縄県学校給食会 常務理事
評議員	吉本 真紀雄	浦添市立学校給食当山共同調理場 所長
評議員	金城 敦	南風原町立学校給食共同調理場 所長
評議員	太田 守克	沖縄県教育庁保健体育課学校安全・給食班 班長

## 平成26年度事業報告

(2) 理事 定数：6名以上9名以内 現在数：7名 任期：2年

役職名	氏名	所属名 職名
理事	座安 純一	沖縄県教育庁保健体育課 課長
理事	東 健策	浦添市立浦城小学校 校長
理事	石川 謙	(一社) 沖縄県 PTA 連合会 副会長
理事	上原 満	うるま市立学校給食センター第一調理場 所長
理事	新城 文哉	J Aおきなわ本店特産加工部 部長
理事	前原 昌直	公益財団法人沖縄県学校給食会 理事長
理事	屋嘉比 守	公益財団法人沖縄県学校給食会 常務理事

(3) 監事 定数：2名以内 現在数：2名 任期：2年

役職名	氏名	所属名 職名
監事	古堅 宗男	(一社) 沖縄県 PTA 連合会 事務局長
監事	大嶺 雅紀	沖縄県立那覇商業高等学校 校長

(4) 役員等及び職員の異動

役職名	氏名	異動年月日	摘要
理事	長濱 雅仁	平成26年6月25日	辞任
理事	座安 純一	平成26年6月25日	就任

役職名	氏名	異動年月日	摘要
評議員	宮城 弘之	平成26年6月25日	辞任
評議員	我那覇 生男	平成26年6月25日	辞任
評議員	桃原 典之	平成26年6月25日	辞任
評議員	太田 守克	平成26年6月25日	就任
評議員	仲程 直毅	平成26年6月25日	就任
評議員	金城 敦	平成26年6月25日	就任

## II. 会議

### 1 理事会

第1回通常理事会：平成26年6月4日

第1号議案 平成25年度事業報告・計算書の承認

第2号議案 定時評議員会の招集の決定

第3号議案 土地(国有地)の取得

第4号議案 公益財団法人沖縄県学校給食会人事等規程の改正

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

第1回臨時理事会：定款第39条第2項に基づき、平成26年11月26日に承認可

## 平成26年度事業報告

決する旨の理事会があったものとみなされた。

第1号議案 平成26年度収支予算の補正

第2回臨時理事会：平成27年1月28日

第1号議案 土地の取得に係る売買契約の締結

第2回通常理事会：平成27年3月12日

第1号議案 平成27年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

第2号議案 評議員会の招集の決定

第3号議案 公益財団法人沖縄県学校給食会特定費用準備資金等取扱規則

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

## 2 評議員会

定時評議員会：平成26年6月25日

報告事項 平成25年度事業報告

第1号議案 平成25年度決算報告書の承認

第2号議案 評議員3名選任

第3号議案 理事1名選任

その他 共通費用等の配賦に関する規程の制定（報告）  
土地（国有地）の取得について（報告）  
代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

第1回臨時評議員会：平成27年3月19日

報告事項 平成27年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

その他 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

## 3 監事会：平成26年5月26日

平成25年度理事の職務執行の監査

平成25年度事業報告及び決算内容監査

## Ⅲ その他

### 1 土地（国有地）の取得

平成26年6月4日の第1回通常理事会において、土地購入についての承認を得、6月25日の定時評議員会へ報告。その後平成27年1月28日の第2回臨時理事会において売買契約についての承認を受け、2月20日に国との売買契約を締結し、その後平成27年3月2日に登記が完了した。

### 2 米穀に係る追加助成と補正予算

平成26年4月1日から消費税が5%から8%へ増税された。また牛乳を始め本

## 平成26年度事業報告

会取扱しているおかず用の物資も平年に比べ大幅に値上げされたが、給食費がほとんどの市町村で改訂されなかったため、学校給食の運営は非常に厳しいものがあり、必要な栄養素の摂取も危惧されている現状に鑑み、通常、精米代金の5%程度の値引を実施していたが、平成26年11月26日の臨時理事会において承認を得、予算の補正を行い、約一億円程度の追加の値引を12月から翌年3月末まで実施して、学校給食の安定的な運営に寄与した。

＜事業活動＞

I 学校給食支援事業（公益目的事業1）

1 学校給食用物資の安定供給に関する事業

（1）取扱物資の計画的確保と安定供給

○学校数及び給食人数

区分	ミルク給食	完全給食			合計
		小学校	中学校	高校定時	
教育課程	幼稚園				
校数	275	273	155	7	710
人数	19,340	103,390	55,112	2,900	180,742

○給食用物資供給先

	共同調理場数	単独調理場数	計
26年度	72	65	137

○取扱物資数

区分		品数	主な商品
一般物資	常温物資	256	県産 <sup>ハ</sup> ｲ缶詰、醤油、黒糖、乾物他
	冷凍物資	250	かぼちゃ、ほうれん草、県産もずく他
基本物資		29	牛乳、精米、米飯、脱脂粉乳他

○物資別供給金額

物資名	平成26年度	平成25年度	増減額
一般物資	1,296,083,740円	1,263,505,767円	32,577,973円
基本物資	2,966,387,264円	2,971,100,913円	▲4,713,649円
計	4,262,471,004円	4,234,606,680円	27,864,324円

○基本物資別使用量

物資名	区分	平成26年度	平成25年度	増減
小麦粉	パン給食用	262,459 kg	265,039 kg	▲2,580 kg
	麵用	79,704 kg	86,603 kg	▲6,899 kg
	副食用	12,875 kg	13,725 kg	▲850 kg
	小計	355,038 kg	365,367 kg	▲10,329 kg
脱脂粉乳	パン用その他	10,688 kg	10,586 kg	102 kg
米穀	米穀用(精米)	1,653,587 kg	1,660,813 kg	▲7,226 kg
パン副原料	砂糖他	37,944 kg	38,765 kg	▲821 kg
牛乳	県産生乳	33,511,686個	33,524,115個	▲12,429個

## 平成26年度事業報告

### ○冷凍食品合同選定会（九州8県）

冷凍食品合同選定会は年3回開催。本年度は5月23日に第2学期取扱分、9月25日に第3学期取扱分、12月16日に第1学期取扱分の選定を行うため、市町村給食関係代表者、栄養教諭、栄養職員が参加した。選定された物資2,110,652食、37品目を計画的に確保した。

### ○中国・九州地区共同購入会議

中国・九州地区共同購入会議は年4回開催。本年度は7月28日、10月24日、12月11日～13日、平成27年2月19日～20日に本会物資課職員が参加した。選定された物資497,800kg、81品目を計画的に確保した。

## （2）教育の機会均等

○本会が取り扱う物資は離島含めた県内すべてのセンター、共同調理場、学校等へ供給。商品の送料負担はなく、全県地域に同一商品を同一価格で供給している。

## （3）基本物資（パン・米飯・麺・牛乳）加工委託事業

区分	事業者数	備考
パン・米飯	17	うち2はパン事業のみ
麺	5	
牛乳	6	
計	28	

○経営規模が零細な加工委託工場に対し、適正な品質を堅持するため本会が設備・備品などを無償貸し付等で支援。本年度実績は1件、助成額62,415円。

## （4）適正価格での供給

○共同購入した実績は、7月会議（10品、51,200kg）、10月会議（9品、33,270kg）、12月会議（16品、108,450kg）、2月会議（46品、304,880kg）であった。

○保護者負担軽減の観点から平成26年度は下記のとおり助成した。

区分	平成26年度	平成25年度	増減
米飯	106,056,822円	24,730,200円	81,326,622円
精米	34,538,360円	8,430,403円	26,107,957円
計	140,595,182円	33,160,603円	107,434,579円

\*助成単価は米飯、精米とも10kg当たり192.46円で実施。

\*平成26年12月～平成27年3月まで2,002.16円で実施

○物資流通情報モニター委員7名に学校給食会以外の問屋から平成26年の間に購入した商品を記入してもらい、品質に対して仕入値が適正であるかの判断の材料とした。

## 平成26年度事業報告

○一般市場の販売価格動向については本会営業担当者にて9月から同年12月までの期間において量販店、業務用スーパー等の動向調査を実施した。本会の取扱う商品と同等品の市場調査したところ、本会の取扱う商品は一般市場の販売価格を100とすると、89.7%の安価な価格で供給できているとの調査結果であった。

### (5) 公正な物資選定

○物資委員会は年3回開催。本年度は7月1日に第2学期取扱分、11月11日に第3学期取扱分、平成27年2月10日に第1学期取扱分の選定を行うため、学校給食実施校代表、県教育委員会、県環境保健部、衛生機関、市町村給食関係代表者、栄養教諭、栄養職員、学識経験者、PTA代表等が出席、開催した。第1回物資委員会(12品)、第2回物資委員会(11品)、第3回物資委員会(13品)を選定した。また選定期間中の使用食数は合計で782,171食、金額合計は44,547,290円であった。

## 2 学校給食物資の安全性確保及び衛生管理に関する事業

### (1) 取扱物資の安全性確保

#### ア. 基本物資

○米穀のDNA鑑定、残留農薬検査・カドミウム検査を日本穀物検定協会へ17回依頼実施し、検定料471,960円となった。

○小麦粉の検定を日本穀物検定協会へ11回依頼実施し、検定料242,352円となった。

#### イ. パン・麺・牛乳

○パン品質調査会は7月2日、9月17日、平成27年2月18日に開催し、県内の栄養教諭、栄養職員が参加した。参加者は外部講師の指導のもとパン委託加工業者のパン品質判定を行い、その結果は広報誌、ホームページで情報を開示した。

○牛乳の細菌検査(抜取検査)を7月15日、12月10日、平成27年3月18日に計36検体実施した。

○パンの水分測定、細菌検査(抜取検査)を7月2日、平成27年2月18日に計38検体実施した。

○麺の細菌検査(抜取検査)を6月10日、11月25日、平成27年2月24日に計43検体実施した。

#### ウ. 一般物資

○中国九州地区共同購入物資の農薬検査及び放射能検査を一般財団法人日本冷凍食品検査協会に依頼。検定料は993,309円であった。

○九州地区冷凍食品共通選定品(第1学期分、第2学期分、第3学期分)の農薬検査及び放射能検査を一般財団法人日本冷凍食品検査協会に依頼。検定料は167,787円であった。

## 平成26年度事業報告

- 本会検査室で行う自主検査（細菌検査）は 1,063 検体を検査した。
- 放射能検査（外部委託）は 18 検体を検査し、検定料 178,500 円であった。

### エ. 緊急時の危機管理と保険

- 本会では食中毒などの緊急時に対応するため「学校給食会物資取扱危機管理マニュアル」に沿った対応が出来るよう、事務所内に掲示し、職員で読み合わせ等実施した。また、万が一の事故に備えて「食品営業賠償共済保険」（対人賠償 1 人 1 億円、1 事故 10 億円）に加入した。

### オ. 取扱物資の情報と検査結果の開示

- 本会が取り扱う物資は商品名、包装規格、価格、栄養成分、アレルギー表示、商品説明を記載した「平成 26 年度取扱物資案内書」を製本し、離島を含めた県内すべてのセンター、共同調理場、学校等へ配布した。
- 本会検査室で実施した検査内容及び検体数等は下記のとおり。またその結果については、広報誌等で情報を開示した。

項目	内 容	
細菌検査	一般物資（取扱物資）	1,063 検体
	選定物資（行事食サンプル含む）	84 検体
	基本物資（ミルク）	36 検体
	基本物資（パン）	38 検体
	基本物資（めん）	43 検体
理化学検査	ミルク成分規格試験、VBN	63 検体
事故品検索	基本物資	53 件
	一般物資	122 件
調理場からの依頼	事故品・混入異物等の調査	62 件
	自主検査のための利用件数	0 件
委託工場の衛生指導	重点調査及び巡回調査	22 件
	自主検査のための利用件数	0 件

## (2) 学校給食用物資の衛生管理事業

### ア. 加工委託選定工場

- 6 月から平成 27 年 3 月の期間中、計 22 の加工委託選定工場において委託加工工場衛生点検票等を用いて、重点調査及び巡回調査を実施。また、検査室の開放は年間を通し、利用実績無し。
- 7 月 30 日に開催された沖縄県学校給食パン協同組合主催の「平成 26 年度衛生講習会」が本会大会議室で開催された。参加人数約 70 名に対し、本会検査室嘱託員が「パン米飯製造施設における衛生管理のあり方」の講師を務めた。

## 平成26年度事業報告

- 本年度は衛生管理ポスター作成は無し。
- 本年度の検査器具の貸与及び検査の実技指導（拭取り検査キット等）の実績なし。

### イ. 一般物資関係工場

- 工場視察を適宜行い、不適切な部分については改善指導を実施。本年度は県外9社、国外1社の工場を視察した。
- 検査室において改善指導の実施は無し。
- 検査室において立ち入り調査、衛生点検及び一般物資関係工場の検査室利用の実績は無し。

### ウ. その他

- 全職員毎月1回の検便及び年1回の健康診断を実施した。その検便結果は毎月の結果を19センターへ報告した。選定工場に対しても同様な検便と健康診断の実施を指導した。
- 全職員年1回および委託職員年2回のノロウイルス検便を実施した。
- 全職員のインフルエンザ予防接種費用の半額助成を実施した。

## 3 学校給食の普及充実及び食育推進の支援に関する事業

### (1) 学校給食の普及充实事業

#### ア. 各種研修・講習会等の事業

- 「新規採用学校栄養職員研修会」（主催：県立総合教育センター）が5月15、16日、本会会議室にて開催。新規採用職員4名に対し、本会職員の物資課長が、「学校給食用物資と調理場における物資管理について」、食育支援室嘱託員が「栄養管理の実際～年間献立作成について～」、8月14日に本会検査室職員が「衛生管理の実際～細菌検査を通して～」の講師を務めた。
- 栄養教諭等を対象として食の指導など資質向上のため講師を招聘して「栄養教諭・学校栄養職員講演会」（主催：沖縄県学校栄養士会）を6月13日に本会大会議室で開催。参加者約80名、講師に東京農業大学の矢嶋客員教授による「植物性乳酸菌ラブレの整腸作用・免疫向上効果について」講演した。
- 「栄養教諭等を対象とした調理技術の向上と献立作成における内容充実を図るため「学校給食調理講習会」（主催）を7月23日、本会調理室にて開催した。参加者約60名、調理講師に松本料理学院松本嘉代子学院長による「琉球料理の基本について」の実演がなされた。
- 学校給食調理従事者の調理技術の研鑽と意欲の向上に資するため「地場産物を活用した学校給食献立発表会」（主催）を7月22日、本会調理室・大会議室にて開催。1チーム3名で8チームの計24名が、地元の食材を使用した献立の調理、発表を行った。審査の結果、最優秀賞、審査員特別賞、優秀賞2チーム、計4チームが受賞となる。

## 平成26年度事業報告

- 県高PTA連合会と主催し、保護者を対象に学校給食を通して食の知識を深めるための「県高PTA連食育研修会」（主催：沖縄県高等学校PTA連合会）を7月26日に本会調理室にて開催した。参加者56名、講師に琉球調理師専修学校仲村先生による沖縄の食材を生かした「男子ガッツリ弁当」「女子ヘルシー弁当」の調理実習がなされた。
- 県教育委員会が主体に「第14回沖縄県健康教育研究大会」（主催）を平成27年2月5日に浦添市てだこホールで開催した。特別講演に弁当の日提唱者の竹下和男氏による「子どもを台所に立たせよう」～子どもは置かれた環境に適応する～の演題で講演した。分科会は3部会で発表が行われた。

### イ. 衛生管理支援事業

- 県教育委員会と共催し学校給食調理場所長、栄養教諭等、調理従事者を対象に「衛生管理（細菌検査）実技講習会」（主催）を5月15日、16日に八重山福祉保健所にて開催した。本年度は八重山地区対象の12調理場25名が参加。初日は本会検査室係長による細菌培養実技指導、沖縄県環境科学センター技師による「学校給食における衛生管理について」の講義、二日目は細菌検査結果の発表等が行われた。
- 栄養教諭等への検査器具の無償貸与及び検査室の開放を行う「学校栄養教諭等衛生管理支援事業」及び各調理場等における食材、食器具等の細菌検査残留試験を行う「学校給食調理場衛生管理支援事業」を通年で実施。学校栄養教諭等衛生管理支援事業の実績は検査器具貸出25件。内訳は手洗ヒック-14件、ATP測定器11件、簡易心卵器0件。学校給食調理場衛生管理支援事業は実績なし。
- 本年度の学校給食調理場における異物混入等の調査依頼は62件、自主検査のための検査室開放は0件であった。
- 「県立学校給食調理及び衛生管理講習会」（共催：県教育委員会）を8月7日に本会調理室・大会議室で開催された。参加者約50名、調理講師にエスカルクッキングスタジオ安谷屋氏による「洋食の基礎と応用」「命のスープ」、衛生管理講師に沖縄県環境科学センター徳松副参事による「学校給食における衛生管理の実際とその対策」等講習が行われた。

### ウ. 広報活動

- 広報誌「うちなー」は第90号（1,000部）を8月、第91号（1,000部）を11月、第92号（1,000部）を平成27年1月に発行した。
- 本会の業務内容等の情報提供をホームページで随時更新した。
- 本年度においても学校給食に関するリーフレット、パンフレット並びにパネル等は学校等関係先へ随時無償貸出を実施した。
- 本年度のリーフレット、パンフレットの印刷実績は「親子で作ろう琉球料理」、「学校給食だいすき」、「朝ごはんをたべよう」、「はしちゃんをつかえるかな」を各1,000部。

## 平成26年度事業報告

○パネル等の貸出実績は21件。

○学校給食の意義や役割等について保護者や県民の理解と関心を高めるため、平成26年度学校給食週間にあわせて平成27年1月19日～23日に「学校給食展」を開催した。開催内容は、県庁1階県民ホールで学校給食の歴史変遷やパネル展示及び学校給食のメニューを県庁地下1階食堂で提供に必要な資料や食材を提供した。

### エ. 図書室の開放

○本年度の専門書籍貸出75件、ビデオ等貸出22件であった。

### オ. 関係団体への助成

○本年度の助成額は1,710千円であった。

団 体 名	助成額
沖縄県学校栄養士会	650,000 円
沖縄県学校給食研究協議会	150,000 円
沖縄県高等学校給食研究協議会	150,000 円
特別支援学校給食研究協議会	150,000 円
共同調理場連絡協議会	100,000 円
県学校給食研究協議会指定研究校 ①真嘉比小学校②仲西中学校③北部農林高等学校)	270,000 円
県教育委員会指定研究校 ①真嘉比小学校	90,000 円
沖縄県健康教育大会負担金	150,000 円

### カ. 本会施設の開放

○本会の調理室及び会議室等を学校給食関係者及び学校教育関係団体等へ無償貸出を行い、利用実績は155回であった。

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	計
会議室	31回	39回	34回	23回	127回
調理室	2回	12回	3回	0回	17回
資料室	2回	1回	8回	0回	11回
計	35回	52回	45回	23回	155回

## (2) 食育推進の支援事業

### ア. シンポジウム、研修・講習会の開催

○毎年8月実施の「食育シンポジウム」は、生涯にわたって心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ食育の推進」～うりひゃー・でーじなとん！できることから始めよ

## 平成26年度事業報告

う～をテーマに掲げ、8月16日に南風原町中央公民館（黄金ホール）で開催。基調講演は九州大学大学院助教の佐藤剛史先生の「人と自分を大切に作る食」～食の力は、自然に身につかない～、シンポジウムでは医師、栄養士、保護者より発表が行われ、来場者数約270名であった。

○「食と子どもの健康展」は7月5日にサンエー西原店、12日にイオン名護店、具志川店の三店舗にて開催した。各ブースでは学校給食の行事食など分かりやすい写真や実物付きで説明し、学校給食の理解と食育の重要性をアピールした。

○「学校栄養士による家庭・地域と連携した食育実践講座」は本島4地区の国頭、中頭、那覇、島尻と、宮古、八重山及び特別支援学校で計11回開催。対象者は各地区の児童生徒と保護者で、参加延人数318名であった。

開催地区	開催日	開催場所	テーマ	参加人数
北部	8月6日	名護小学校	ゴーヤーの魅力に触れよう	中止
	11月8日	久辺小学校	身近な食材で作るバランス良い弁当作り	22名
中部	10月25日	うるま市健康福祉センター	うちなーむんを食べよう	30名
	11月8日	美里小学校	給食メニューから簡単、元気いっぱい朝ごはん	43名
	11月22日	普天間第二小学校	給食メニューで簡単常備菜～少しの工夫で免疫力アップ～	30名
那覇	7月29日	沖縄県学校給食会	学校給食メニューでlets(一汁三菜)	59名
	8月5日			49名
島尻	10月4日	八重瀬町改善センター	地域の食材を活用したお弁当作り	24名
	10月18日	久高小中学校		15名
宮古	8月20日	多良間中学校	学校給食メニューを活用したお弁当を作ろう	13名
八重山	12月14日	石垣市健康福祉センター	学校給食メニューを作ろう	16名
特別支援	11月21日	泡瀬特別支援学校	嚥下実践セミナー	17名

### イ. 食育推進のための教材等の貸出事業

○本年度の教材等の貸出回数は、パネル・フード等21回、琉球漆器12回、バイング食器22回であった。

○本県独自の食文化を子どもたちに伝えることで、地域への関心を高め、生命を育む自然への畏敬の念や郷土を愛する心を養うことを趣旨に平成27年食育カレンダーを県学校給食栄養士会と共同で作成。学校給食関係者等へ1,000部配布した。

## 平成26年度事業報告

### ウ. 地産地消の推進

○県産米は、本会年間玄米使用量 1,831 t のうち約 5%にあたる 100 t を J A 沖縄から購入し、県内児童生徒へ供給した。

○本年度の牛乳は、県産生乳 100%、6,702,337 ℓ を県内児童生徒へ供給した。

○その他に、パイン 11,319 ㎏、黒糖 68,000 ㎏ を J A 沖縄を通じて中国九州地区 12 県の学校給食会に供給した。また、西表産黒米を使用した黒米粉パン、県産黒糖を使用した黒糖パン、県産モズク、パパイヤ等県産素材を使用して県内加工メーカーで商品化した約 40 品目（年間 320,434 ㎏、金額 167,586 千円）を県内児童生徒へ供給した。